

### 決議

本大會は労働階級の失業防止並に救済のために当面緊急の対策として左記の要求を掲げこれが即時実行を期す

- 一 強制失業保険の國營
- 一 八時間労働制の確立
- 一 職業紹介機關の拡充並びにこれが労働組合管理
- 一 大規模失業救済事業の興起
- 一 消費組合、労働組合への政府資本呈下付
- 一 失業者に対する租税、家賃、電燈及び薪料金の軽減
- 一 失業者に対する無料指泊所、無料食糧の新設
- 一 産業の國家統制

### 理由

一 失業問題は資本主義社会の存続する限り不可避的な問題であると同時に、資本主義の内部的矛盾の激化すると共に失業者は増大し益々緊急焦眉の問題となりつゝある従つてこれが対策は、失業救済、失業防止の徹底的解決の綜合統一されたものでな

ければならない

二 今日資本家並にその政府の失業問題に対する態度を見るに、無為、無能、冷淡の教語に盡きる、凡ゆる職業と企業に亘り解雇、賃銀切下げ、時間延長、労働強化を強行し、他方トラスト、カルテルによつて物價の下落を防止し、インフレーション政策によつて物價吊上げを行ふなど、労働大衆の生活を何等考慮せず低下せしめるばかりか、これを餓死線上に追ひやりつゝある、しかも之が救済策に至つては、僅かに申訳的な不統一なる事業其他があるのみで、基本的にして実効ある失業対策は何一つ講ぜられて居ない

三 非常時日本は一面失業慢性の日本である、然等は資本家政府の失業対策の無能に對して断乎抗議すると共に労働階級の団結力の威力に依つて失業救済及防止のために戦はなければならぬ 即ち

- (一) 失業救済運動の基本的目標として失業手當法の即時制定 突施並に失業保険法の制定、これが費用は原則として資本家國家の負担たる事、政府並に労働組合選出の代表委員会によつて監督せられる失業登録制に基くこと
- (二) 國家として大規模の失業救済事業を起さしめること、それには中間採取を絶対に